

## 『戦史研究年報』第10号記念

『戦史研究年報』は今号で第10号という節目を迎えた。この節目を記念して情報発信という観点から、創刊号から第9号までの総目次を掲載する。また過去十年間の成果である『年報』掲載の論文を研究者等により活用していただくという観点から「創刊号から第9号までの掲載論文要約」を掲載する。なお『年報』は、国立国会図書館をはじめとする主要図書館、公文書館等に寄贈されており、閲覧することが可能である。また防衛研究所のホームページ上<<http://www.nids.go.jp/dissemination/senshi/index.html>>に第7号以降の全内容が掲載されている。

### 創刊号から第9号の総目次

『防衛研究所戦史部年報』創刊号（平成10（1998）年）		
区分	題名	筆者等
創刊記念	創刊の辞	防衛研究所所長 大森 敬治
口絵	戦史部庁舎、史料庫 「機密戦争日誌」 「市ヶ谷台史料」昭和16年在満軍備改編要領(参謀本部第3課)	
	序	戦史部長 辻川 健二
創刊記念	創刊に寄せて	伊藤隆、森松俊夫、 近藤新治、野村実、 波多野澄雄、高橋久志、 赤木完爾
論文	第一次世界大戦における欧州戦線派兵要求と日本の対応	永井 煥生
	第一次山東派兵における出兵決定過程 陸軍省部と外務省の対応を中心として -	溝部 竜
	もう一つの冷戦の起源 - 米国の「対ソ戦争計画」の視点から -	喜田 邦彦
研究会記録	太平洋の戦いとヨーロッパの戦い 多国籍の艦隊 湾岸戦争における共同海軍作戦 -	ゲルハルト・ワインバーク(立川京一訳) エドワード・マロルダ(相澤淳訳)

戦史部の歩み	戦史部略歴 『戦史叢書』の来歴および概要	庄司 潤一郎 原 剛
史料紹介	市ヶ谷台史料 「機密戦争日誌」 陸軍省大日記(大正編)	溝部 竜 原 剛 原 剛
活動報告 平成9年	研究会等、戦史史資料の閲覧、参考調査、見学者	

『防衛研究所戦史部年報』第2号(平成11(1999)年)		
区分	題名	筆者等
口絵	「歩兵第五聯隊雪中行軍遭難事件」書類	
	太平洋戦争とは何だったのか	入江 昭
戦史研究 発表会	<特別講演> 大東亜戦争・太平洋戦争はいかに語られてきたか	保阪 正康
論文	開戦経緯の経済的側面 戦時下仏印におけるフランスの対日協力 - 1940～45年 - 湾岸戦争にみる米軍の戦略展開 - JOPES を中心にして -	荒川 憲一 立川 京一 高橋 弘道
研究会 記録	帝国陸軍と日泰同盟  アメリカと第二次世界大戦 - 「歴史」と「記憶」 -  湾岸戦争とイスラエルのミサイル防衛	ブルース・レイノルズ(進藤裕之抄訳) ロナルド・スペクター(相澤淳訳) ベニー・ミハルソン(喜田邦彦監訳)
戦史部の歩み	戦史研究発表会の歴史	庄司 潤一郎
史料紹介	公文備考 「歩兵第五聯隊雪中行軍遭難事件」関係史料	菊田 慎典 中尾 裕次
活動報告 平成10年	研究会等、戦史史資料の閲覧、参考調査、見学者	
	戦史部職員一覧	

『戦史研究年報』第3号(平成12(2000)年)		
区分	題名	筆者等
口絵	帝國國防方針、國防二要スル兵力及帝國軍用兵綱領 策定顛末 嶋田繁太郎大将備忘録および日記(昭和十六年十二月八日の頁)	

戦史研究 発表会	< 特別講演 > 戦後日本の安全保障 - 日米の政策 -	五百旗頭 真
論文	琉球分島問題の結末 ワシントン会議と加藤友三郎 陸軍の防衛召集制度とその実態について - 沖縄に おける防衛召集 - 陸海軍の遣独視察団に見る技術交流の実態 - 日本 における初期のレーダー開発との関係において -	山村 健 横山 隆介 河合 正廣  横山 久幸
研究会 記録	アジア・太平洋地域における第二次世界大戦 リデル・ハートとリベラルな戦争観	江藤 淳 ブライアン・ボンド (立川京一訳)
史料紹介	「帝國國防方針、國防二要スル兵力及帝國軍用兵綱 領策定顛末」 「嶋田繁太郎大将備忘録」 陸海軍文書について	中尾 裕次  菊田 慎典 原 剛
国際会議 参加報告	第25回国際軍事史学会大会参加報告 日本・モンゴル・ロシア合同ノモンハン事件六十周 年記念シンポジウム参加報告	林 吉永 下河邊 宏満
活動報告 平成11年	戦史関連研究会、戦史資料の閲覧、参考調査、見学 者	
	戦史部職員一覧	

『戦史研究年報』第4号(平成13(2001)年)		
区 分	題 名	筆 者 等
口絵	軍令二関スル件 山本五十六元帥の書簡	
論文	「軍事革命」の歴史について - 「ナポレオン戦争」 を中心に - 日清戦争開戦前後の帝国陸海軍の情勢判断と情報 活動 帝国陸軍の第一次世界大戦史研究 - 戦史研究の用 兵思想への反映について - 日本海軍の対英観の再検討 海軍文書「現情勢下ニ於テ帝国海軍ノ執ルベキ態 度」の評価 絶対国防圏下における日本陸海軍の統合 - サイバ ン島における作戦準備を中心として -	石津 朋之  五十嵐 憲一郎  葛原 和三  相澤 淳 中尾 裕次  屋代 宣昭
研究会 記録	米国流戦争方法の起源 - 1789 ~ 1902 年 -  日中戦争期の中国におけるドイツ軍事顧問	アラン・ミレット(進 藤裕之訳) ベルント・マーチン (進藤裕之訳)

史料紹介	「軍令二関スル件」 山本五十六元帥の書簡等	中尾 裕次 下河邊 宏満
国際会議 参加報告	第 26 回国際軍事史学会大会参加報告 カナダ軍事史研究大会参加報告	林 吉永 立川 京一
活動報告 平成 12 年	戦史関連研究会、戦史資料の閲覧、レファレンス、 見学者	

『戦史研究年報』第 5 号 (平成 14 (2002) 年)		
区 分	題 名	筆 者 等
口絵	大東亜戦争宣戦詔書第一案 海軍技術研究所現状一般	
戦史研究 発表会	< 特別講演 > 軍事史研究について考える	伊藤 隆
論文	日本陸軍の武器輸出と対中国政策について - 「帝国 中華民国兵器同盟策」を中心として - 比較戦争経済史 - 潜水艦と造船の戦いを中心に - インドシナ残留日本兵の研究 坪井航三研究序説 - 米国留学先の解明を中心にし て -	横山 久幸 荒川 憲一 立川 京一 高橋 文雄
研究会 記録	クラゼヴィッツと現代戦略思想の危機  実戦に見る現代空軍力 - 湾岸戦争とコソヴォ紛争 -	ジャン・ヴィレム・ ホーニッヒ(荒川憲 一訳) ベンジャミン・ラン ベス(進藤裕之訳)
史料紹介	大東亜戦争宣戦詔書草稿綴 海軍技術研究所現状一般(昭和十一年八月二十日現 在調)	中尾 裕次 下河邊 宏満
国際会議 参加報告	第 27 回国際軍事史学会参加報告 日豪戦(ニューギニア戦)プロジェクト参加報告	林 吉永 荒川 憲一
活動報告 平成 13 年	戦史関連研究会、戦史資料の閲覧、レファレンス、 見学者	

『戦史研究年報』第 6 号 (平成 15 (2003) 年)		
区 分	題 名	筆 者 等
口絵	安全保障シンポジウム、戦争史研究国際フォーラム	
	防衛研究所創立五十周年記念に寄せて	柳澤協二、新貝正勝、 ブライアン・ボン ド、河載平、アラ ン・ミレット、高橋 久志、林吉永

論文	ドイツにおける「戦争犯罪」をめぐる諸問題に関する一考察 張作霖爆殺事件 - 河本大作関東軍高級参謀の真意 - 国際連盟と海軍軍縮 - 軍縮準備委員会と日本の対応 - 日清戦争期韓国の対日兵站協力 台湾経略再考 - 台湾割譲要求の思想的背景を中心に -	庄司 潤一郎 白石 博司 横山 隆介 山村 健 戒能 善春
研究会記録	The Changing Face of Conflict Italian-Japanese Relations in the 1930s	Philip A. G. Sabin Valdo Ferretti
国際会議参加報告	第28回国際軍事史学会参加報告 米国陸軍歴史研究者会議参加報告 日韓軍事史研究会参加報告	庄司 潤一郎 立川 京一 谷村 文雄
国際会議発表論文	Non-impact has brought Impact to the US from Japan since 1945. (国際軍事史学会) 第一次世界大戦の日本への衝撃(国際軍事史学会) 日本特別掃海隊の役割(日韓軍事史研究会)	林 吉永 庄司 潤一郎 谷村 文雄
史料紹介	「西郷隆盛(遺体発見電)」、「森 鷗外の結婚届」、「日露戦争日本海海戦電報」、「第二特務艦隊戦闘詳報」、「情勢の推移に伴う帝国国策要綱(御前会議議事録)」、「対英米蘭開戦の件(御前会議議事録)」、「大東亜戦争戦訓(航空)第一編ハワイ海戦の部」、「東條英機が航空部隊の指揮に関し天皇の允裁(承認)を仰いだ史料」、「軍事機密 小笠原兵団硫黄島戦闘計画」、参謀総長等及び陸軍大臣の職印	
活動報告 平成14年	戦史関連研究会、戦史資料の閲覧、レファレンス、見学者、戦史編さん準備	

『戦史研究年報』第7号(平成16(2004)年)		
区分	題名	筆者等
口絵: 史料紹介	秋山真之大尉から加藤軍事課長心得に宛てた手紙 日露戦争における俘虜に関する史料	
論文	日本陸軍におけるエア・パワーの発達とその限界 - 運用規範書を中心に - 旧日本海軍における航空戦力の役割 戦間期における海軍航空戦力の発展 - 山本五十六と軍事革新 - 軍事作戦と軍事占領政策 - 第2次世界大戦期東チモールの場合 -	横山 久幸 立川 京一 塚本 勝也 野村 佳正
研究会記録	Transformation and Innovation: The Lessons of the 1920s and 1930s 日本の西洋軍事理論受容に関する研究	Williamson Murray 李 鍾學

国際会議 参加報告	第 29 回国際軍事史学会大会参加報告	相澤 淳
国際会議 発表論文	大本営発表とミッドウェー海戦(国際軍事史学会)	相澤 淳
活動報告 平成 15 年	戦史関連研究会、戦史編さん等 - 現況と今後 -、戦史 史資料の閲覧、レファレンス、見学者	

『戦史研究年報』第 8 号 (平成 17 (2005) 年)		
区 分	題 名	筆 者 等
口絵： 史料紹介	都市防空に関する史料 沿岸地域住民の避難に関する史料	
論文	国民保護の視点からの有事法制の史的考察 - 民防 空を中心として - 朝鮮海域に出撃した日本特別掃海隊 - その光と影 - 情勢の変化に適応できた特殊潜行艇(甲標的) - 攻 撃兵器から防御兵器へ -	氏家 康裕 鈴木 英隆 中村 秀樹
研究会 記録	Seeing War as We Want It to Be: An Obstacle to Learning the Right Lessons?	John A. Lynn
国際会議 参加報告	戦争史日韓学術会議参加報告(平成 15 年度) 第 30 回国際軍事史学会参加報告 ヨーロッパ東南アジア研究会議参加報告 戦争史日韓学術会議参加報告(平成 16 年度)	芦田 茂 石津 朋之 立川 京一 葛原 和三
国際会議 発表論文	朝鮮戦争と日本 - 日本の役割と日本への影響 - (戦 争史日韓学術会議) 日本の職業軍人意識 - 1500 年の軍事史を振り返っ て - (アーミー・ヒストリアンズ・コンファレンス) 日本とアジアにおける初期の冷戦(ヨーロッパ東南 アジア研究会議)	芦田 茂 林 吉永 立川 京一
活動報告 平成 16 年	戦史関連研究会、防衛研究所におけるオーラル・ヒス トリーへの取組みについて、戦史史資料の閲覧、レフ ァレンス、見学者	

『戦史研究年報』第 9 号 (平成 18 (2006) 年)		
区 分	題 名	筆 者 等
口絵： 史料紹介	「戦闘度数比準調書類」 日清戦争の武功顕彰 軍艦「三笠」爆沈に関する史料 軍艦「日進」火薬庫爆発に関する史料	

論文	朝鮮戦争と日本 - 日韓関係史の視点から - 戦後日本の海上防衛力整備(1948~52年) - 海上防衛における日米の「役割分担」の起源 - 旧軍の人事評価制度 - 勲章と武功認定 - 軍艦爆沈事故と海軍当局の対応 - 査問会による事故調査の実態とその規則変遷に関する考察 - 「シュリーフェン計画」論争をめぐる問題点	林 吉永 石田 京吾 山村 健 山本 政雄 石津 朋之
研究会 記録	Diagnosis and Autopsy: Britain and the Outbreak of the Pacific War	Antony Best
国際会議 参加報告	第31回国際軍事史学会大会参加報告 日米韓3ヵ国シンポジウム参加報告 2005年オーストラリア空軍歴史会議参加報告	立川 京一 進藤 裕之 進藤 裕之
国際会議 発表論文	19世紀初頭の日本の軍事力(国際軍事史学会)	立川 京一
活動報告 平成17年	戦史関連研究会、平成17年度の戦史編さん等について、戦史資料の閲覧、レファレンス、見学者、戦史資料の審査と公開	